



京都ノートルダム女子大学

Kyoto Notre Dame University

公開講座2021

生活環境学科
名称変更記念

若年女性の
朝食欠食と
生殖機能

時計遺伝子が刻む
負の記憶

藤原智子

FUJIWARA, TOMOKO

京都ノートルダム女子大学
現代人間学部生活環境学科 教授

小野政徳

ONO, MASANORI

東京医科大学医学部医学科
産科婦人科学教室 准教授

2021年7月3日(土)

13:30~15:30

〈開場13:00〉 参加無料

事前申込制(先着90名)

申込方法:参加申込みWebフォーム
(<https://forms.gle/T8MDi6wqP1hakdeo9>)から
お申し込みください。



京都ノートルダム女子大学
ユージニア館 NDホール



〒606-0847 京都府京都市左京区下鴨南野々神町1 [交通アクセス]京都市営地下鉄烏丸線北山駅徒歩7分

主催/京都ノートルダム女子大学 後援/京都市、京都新聞

<https://www.notredame.ac.jp/>

2021年7月3日(土) 13:30~15:30 (開場13:00)

一般に食生活習慣は現在のみならず将来の健康や生活の質(QOL)を左右する重要な因子のひとつとされている。人生100年時代の到来で、中高年層には健康意識の高まりが見られはじめたが、その世代を支える若年層の食に対する認識は必ずしも十分とはいえず、欠食や美容目的のダイエット、ファストフードや加工食品の摂取過多など数多くの問題点が指摘されている。

なかでも1日のはじめに摂る朝食は体内時計の調整に重要な役割を果たすとされているが、全世代の中で大学生を含む若年成人層の欠食率は男女ともにもっとも高い。朝食欠食によって乱れた体内時計は様々な不調を引き起こすことが報告されており、とくに次世代の命を育む女性ではこれらの生体リズムの乱れが生殖機能に悪影響を及ぼすリスクが懸念される。そこで女子大学生を対象にアンケート調査したところ朝食欠食者に月経痛が強いことが判明した。

月経痛の原因には近年若い女性の間が増えてきた子宮内膜症も含まれており、これらの婦人科疾患は不妊症や月経困難症などの原因となる。したがって思春期を経て性機能の成熟期を迎えた20歳前後の女性にとって、月経痛は将来の妊孕能(妊娠する能力)やQOLに関わる自覚症状であり、若年女性の朝食欠食と月経痛の因果関係に注視する必要がある。

以上の背景のもと、今回の講座では将来のQOLに若年成人期の食生活が大きく関わっていることを全ての世代が考える契機となることを期して、大学の教育現場と産婦人科の医療現場の視点から、若年女性の食生活と生殖機能に関する最新の研究トピックスを紹介する。



藤原智子

FUJIWARA, TOMOKO

京都ノートルダム女子大学現代人間学部生活環境学科 教授

PROFILE ●奈良女子大学大学院家政学研究科修了 博士(学術)。専門分野は食生活学。長年食生活実態調査と動物による検証実験に取り組んでおり、近年は生活リズムに焦点をあて、時計遺伝子の関与に着目している。

主な研究業績 ●Adolescent Dietary Habit-induced Obstetric and Gynecologic Disease (ADHOGD) as a New Hypothesis-Possible Involvement of Clock System." *Nutrients* (2020 共著)、「朝食欠食と月経痛—食生活様式の乱れによる体内時計と性機能障害」家政学会誌 (2018 単著)、「Skipping breakfast is associated with reproductive dysfunction in post-adolescent female college students." *Appetite* (2010 共著) ほか。



小野政徳

ONO, MASANORI

東京医科大学医学部医学科産科婦人科学教室 准教授

PROFILE ●慶應義塾大学大学院医学研究科修了 博士(医学)。ノースウェスタン大学産婦人科で、子宮平滑筋および子宮筋腫の研究に従事したのち、金沢大学産科婦人科学教室講師を経て2021年6月より現職。専門分野は産婦人科学。

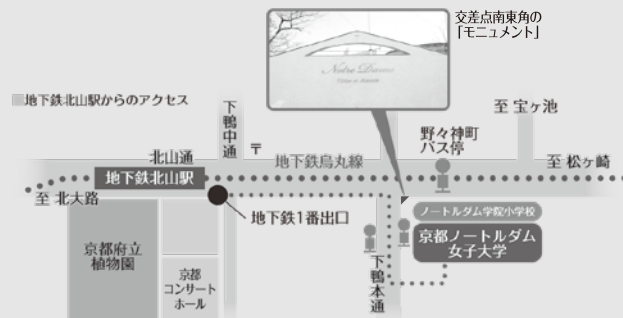
主な研究業績 ●“Hypertensive disorders of pregnancy are associated with dysmenorrhea in early adulthood: A cohort study.” *J Obstet Gynaecol Res* (2020 共著)、「周産期再生医療の現状と未来—周産期医療はどこに向かうのか産婦人科領域 子宮筋筋細胞」周産期医学 (2018 単著)、「Paracrine activation of WNT/β-catenin pathway in uterine leiomyoma stem cells promotes tumor growth.” *Proc Natl Acad Sci USA* (2013 共著) ほか。

現代人間学部 生活環境学科

あした 未来のくらしはわたしが創る

生活環境学科の7つの魅力

- ①くらしをコーディネートするための幅広い学び。
衣・食・住、家族、生活経営・経済、生活福祉、精神保健福祉を幅広く学べます。
- ②2年次からはコース制(2年次進級時選択)。
生活科学コース/生活経営・経済コース/精神保健福祉コース
- ③取得可能な免許や資格が豊富。中学・高等学校教諭(家庭)※2020年度就職率100%
二級建築士受験資格、インテリアプランナー登録資格、フードスペシャリスト受験資格、精神保健福祉士受験資格、他
- ④実習・演習型授業で技術や技能を身につけ、高い実践力を養う。
- ⑤設備が充実した特色あるLabで実践的に学ぶ。ファッションデザインLab、テキスタイル実験室、調理実習室、示範・試食室、食品加工演習室、インテリアデザインLab、製図室、ソーシャルワークLab、フードサイエンスLabなど
- ⑥3年次からは専門ゼミに所属して、専門分野の卒業論文制作(3年次進級時選択)
- ⑦徹底した少人数制の初年次教育で、アカデミック・スタディスキルを磨き、入学時から段階的にキャリア形成への意識を高めていきます。



交通ACCESS ●京都市営地下鉄丸線「北山駅」①番出口より徒歩7分(北山通を東へ→下鴨本通を小学校・大学に沿って南へ→1つ目の角を東へ)
●市バス4号系統「野々神町」下車すぐ。
もしくは、「北園町」下車 北へ徒歩5分

問合せ先/ 京都ノートルダム女子大学 研究・情報推進課
TEL.075-706-3789 FAX.075-706-3793
E-mail:kenkyu@ml.notredame.ac.jp